



# 学校だより

令和8年4月24日  
横浜市立上白根小学校  
【5月号】



<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamishirane/>



## やさしくかかわる子どもたち

校長 小嶋 一喜

4月7日の入学式に6年生も久しぶりに参加しました。参加に至った経緯は、子どもたちの思いからです。昨年の5年生は、幼稚園の年長さん、保育所の5歳児さんとかかわりをもちました。子どもたちに来校していただき、一緒に遊んだり、ときには出向き、絵本を読んだり、秘密基地をつくったりして、仲良しの関係づくりをしました。そこで「仲良くなった子どもたちを迎える入学式で、自分たちもお手伝いがしたい」と、昨年度、5年生代表の児童数名が、私へ伝えにきました。担当の先生の助言もあり、座席や教室までの案内と校歌の紹介を行うことになりました。入学式当日は、おめでとうの気持ちを言葉と校歌に込めて、新入生に伝えました。新入生が6年生に注目して聞き、歌い終わると拍手をしてくれました。その姿をみている6年生も、うれしそうな表情をしているように見受けられました。

4月8日から、西昇降口では大きなランドセルを背負った1年生が、靴を上履きに履き替えています。戸惑っている1年生には、6年生がそっと手を差し伸べていました。1年生の教室では、ランドセルから筆箱やノートなどを机にしまうときに、6年生がやさしく見守っていました。1年生は登校してから30分くらい自分の好きなことをする時間があります。スポンジでできたブロックを積んで遊んでいる子、けん玉に挑戦している子、お絵かきや塗り絵をしている子と様々です。6年生も一緒になって楽しんでいるようで、まるで家族のように見える場面も多くありました。終わりの時刻になると、同じ2階の教室に帰っていく6年生を笑顔で見送っている1年生の姿が見えました。

5月末には、スポーツフェスティバル（仮称）があります。1・6年生のペア競技もあります。6年生と1年生の素敵なかかわりがたくさん見られることを今から楽しみにしています。保護者の皆様から、6年生に対してあたたかな声援があると、子どもたちがさらに育ちますので、よろしく願いいたします。

子どもたちのやさしいかかわりを、他の学年間でもさらに広げていきます。